第 2222 回例会 逗子ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



10 2007年9月13日 2007 - 2008

会長エレクト 長野芳剛 会長 松井一郎 副会長 矢部光治 SAA 山本三津子 幹事 長野芳剛 会計 横瀬元治 広報委員長: 坂井 宰 E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/ 例会日・第1・3 木曜日12:30~13:30 第2・4 木曜日18:30~. 第5木曜日18:00~

例会場・逗子市新宿 1 - 3 - 35「カンティーナ」 TEL: 046 - 870 - 6651

事務所・逗子市逗子 1 - 9 - 26 萬屋ビル 2 F TEL&FAX: 046-873-0226 本日の進行(18:30)

川地 民夫氏 「芸能生活 50 年」 次回のお知らせ

9月20日(木)(12:30)

BS、GS、JC 「新世代からの報告」

第 2221 回 例会記録 2007年9月6日

出席報告 会員数 49 名(出席免除7名) | 出席数 26 名 | 出席率 61.90% 前回修正出席率 59.52% ゲスト 十大内 学氏(元全日空専務・機長)

メークアップ

会 長 談 話 松井 一郎 会長

今日は、台風9号の影響での悪天候にもかかわらず、 多数のご出席を頂きましてありがとうございます。会員 の皆様 台風災害にはくれぐれもお気をつけ下さい。ま た、月が変わり9月となりました、まだまだ残暑が厳し いとおもわれますので、健康管理にも注意して下さい。 今月は、新世代のための月間です。9月第3例会では、 ボーイスカウト、ガールスカウト、青年会議所の方々に お越し頂き、日頃の活動等の報告をして頂きます。ロー タリーとしては、各団体に助成金を授与致します。私達 ロータリアンが新世代の方々とふれあい、手を取り合い 一緒に活動し、また、地域への奉仕、困っている人に手 を差し伸べることによって、お互いが世代を越えて学び あい、切磋琢磨することで、私達ロータリーも一段とス テップアップし、新たな新世代プログラムの開発に繋が ると思います。

一昨日、ロータリー財団セミナーに参加しました。国 際親善奨学生 林代志未さん(宇宙開発技術者)の NGO

の体験やアフリカ・ウガンダのストリートチルドレンの 現状等、様々な素晴らしいお話を拝聴して来ました。ロ ータリー財団による奨学金制度は、大変意義のあるもの です。他にも奨学金制度は色々とありますが、ロータリ の組織が世界で一番大きな制度であり、ロータリーを 支える大きな柱です。緒方貞子さんしかり、この制度を 利用して、世界に羽ばたいています。しかしながら、最 近この制度・奨学金を利用して勉強しようと言う若い方 が少ないようです。ロータリーとしてもっと、PR して 頂き、周囲に優秀な人材がいないか、見渡してもらい、 各クラブより立派な方々を推薦して頂くよう地区より 要請がありました。また、併せてロータリーマスターカ ードの入会のお願いもありました。ご協力をお願いしま す。利用金額の0.3%が財団に還元されるそうです。

本日は「飛行機について」というテーマで大内学様に 卓話をして頂きます。三役もボルトの欠落、ネジのゆる みが生じないように、気を引き締めて頑張ります。

理事会報告 9/6 (松井、矢部(光)、長野、横瀬、山本(三)、三宅、桐田、石田、岩瀬、、藤吉、山本(由))

9月例会予定 第1例会9月 6日12:30 大内学氏 第 2 例会 9 月 13 日 18:30 川地民夫氏 第3例会9月20日12:30 新世代からの報告「カンティーナ」 第 4 例会 9 月 27 日 18:30 公式訪問リハーサル 「カンティーナ」

10 月例会予定

第 1 例会 10 月 4 日 12:30 米山奨学生呉紅さん「カンティーナ」 第2例会10月11日18:30 ガバナーー公式訪問「カンティーナ」 第3例会10月18日18:00 職業奉仕フォーラム「海狼」 第 4 例会 10 月 25 日 18:30 逗子・葉山合同例会「カンティーナ」

- *8/9 納涼同伴例会、8/23 会員増強フォーラム決算報告
- *9/30 ビーチバレー: 逗子 RC 主催。会員は手伝いを。
- *9/27 ガバナー補佐訪問:次年度に向けて CLP を討議。
- *10/11 ガバナー公式訪問:全会員が出席し問題点を考える。
- *10/18 職業奉仕フォーラム:座右の銘について。
- *10/25 逗子・葉山合同例会:昼ゴルフコンペ。夜間例会。
- *7月.8月予算執行状況報告
- *地球温暖化、CO2 削減、環境問題シンポジウム:チラシを 作成する。*10/21 逗子市民まつり:麻薬撲滅キャンペーン。

卓話 「航空安全と危機管理」 大内学氏



「航空機の事故の推移」

ボーイング社が作成した 1959 年から 2004 年までの民間のジェット機の、航空事故の 統計によると、事故率は 1960 年代に急激に 減っている。しかし、死亡者数にあまり変 化が無いのは、近年、飛行機の大型化が進

み、1 件の事故が起きると多数の死亡者が出るということを表している。飛行機自体については、ものすごく改良が進み空港施設の整備もいろいろ広がり、レーダー網なども整備された。パイロットとか整備士の操作手順の標準化、訓練機器の近代化が進み事故率が下がった。

「ヒューマンエラーへの対策」

近年の航空機事故の、原因の特徴は、7割前後がパイロットのエラーであり、設計とか製造、整備、管制なども含めると、9割以上はヒューマンエラー、つまり人間のミスが主な原因だというふうに言われている。ヒューマンエラーへの対策として登場してきたのが CRM 訓練と言われるものでパイロットを対象としたチーム能力向上のための訓練です。これには知識面の教育とシミュレーターを使った模擬演習があり、コミュニケーションの向上、役割分担の明確化、チームワークの向上を目指すものです。

「CRM 訓練のポイント」

人間の限界を知る、人間の陥りやすい傾向を知る、人間の思考のメカニズムを知る、こういうことを通して自分自身の思考と行動のパターンを確認する。またシミュレーターを使った CRM 訓練、これを LOFT と呼んでいるがラインの運航を模

擬した飛行訓練を行う。

「CRM 以外の安全の取り組み」

組織的な安全活動(運行実態の把握と改善のための活動)は、 機長報告制度と「ヒヤリハット」についての自発的報告制度 FOQA「フォッカ」(Flight Operational Quality Assurance の略語)と LOSA「ロサ」(Line Operations Safety Audit の略語)があり、そのほかに安全監査もやっている。

「コックピットの危機管理」

フライトクルーのチームワークと、風通しの良い雰囲気作りが必要です。また、人間の特性を考えたエラー防止のやり方として「ハリーアップシンドローム」に陥らないこと。「指示は具体的に」と「引き返す勇気を持て」です。

「安全運航に必要な要素」

まず安全を重視するトップの姿勢が必要である。また、法令、 規定、規則といったコンプライアンスを尊重する風土が確立 していること。現場の人々のスキルとモラルを高く維持する こと、「事故を忘れない」という観点で管理者が気を配ること が必要です。安全情報の共有ともう一つ大事なことは、起き たトラブルについて、その事実をできるだけ早く具体的に関 係者全員に知らせるということです。

最後に、我々パイロットの大先輩 からは常々、「パイロットはうそを つくな。頑固になるな。言い訳を するな。」と言われておりました。 (元全日空専務 機長)



ニコニコBOX (58.600円)

松井君…大内学様スピーチよろしくお願いします。台風、 静かに過ぎ去って下さい。

矢部(光)君、長野君、船津君、桐ヶ谷君、湊屋君、山本 (勇)君、坂井君…大内様、スピーチ宜しくお願いします。 市川君…大内氏をお迎えして。

毛利君、石田君、横瀬君…飛行機の話、楽しみです。 岩瀬君…8 月のフォーラムはありがとうございました。 9月になり妻子とまた別居生活です。

村田君…先週の"慰めの会"に感謝。

菊池君…17 年ぶりの海亀のふ化、おめでとうございます。 山本(由)君…4 日夜逗子海岸でふ化した海亀が無事海へ 帰りました。又戻ってくる様に祈っています。 臼井君…会場が良くなりそうですね。

福嶋君…体調不良、休みが続きました。例会より孫かな。藤吉君、白沢君…涼しくなりました。

鈴木(久)君…台風は困ります。元気で働いています。

桐田君…台風が近づき今夜は雨対策です。

山本(三)さん…台風9号皆さん気をつけて。

横山君、松田君…台風来るな!

三宅君…台風が心配です。あっちへ行け!!

高橋君…台風直撃、皆様今日は早く帰りましょう!!

ニコニコ BOX 本日合計 ¥ 58.600

累計 ¥ 531.700

ご協力ありがとうございました。

9月のお祝(敬称略)

本人:横山智、安藤脩二 奥様:三宅真九十(譲)

結婚:矢部房男・一美、

三宅譲・真九十、 菊池尚・万里子 芝田秀・良子 編集だより 大型台風 9 号の接近中の悪天候にもかかわらず 60%を超える出席があり、盛況な例会でした。 大内 学氏のスピーチは航空機における事故の分析と安全対策でした。事故の 70%は、パイロットのヒューマンエラーという報告があり、意外な感じがしました。ハインリッヒの法則「一つの重大な事故の裏には、29 の軽微な事故があり、300 のヒヤットが存在する」も参考になりました。

さて、赤海ガメが 17 年ぶりに逗子の海岸に産卵し、約2ヵ月間市民の気をもませましたが、9月4日無事孵化して 18 匹が海に帰りました。元気に育って、いつかまた逗子海岸に戻ってくれることを楽しみにしましょう。

クラブ会報編集委員 横瀬 元治